

比較を使った表現

「AはBより小さい」とか「彼はチームの選手の中で一番背が高い」など、あるものと他のものを比較して英語で表現したいときに使われる表現を使いましょう。

●2つものを比較して表現するとき

「トムマイクより背が高い」と言いたいときの説明をします。まず「トムは背が高い」というと「Tom is tall」です。この形容詞tallの後ろにerをつけてtallerにしましょう。「～より背が高い」の「より」はthanで表します。すると

例★Tom is taller than Mike.

トムはマイクより背が高い。

※「～er than...」とまずは覚えておきましょう。

また～erの部分強調して、「TomはMikeよりも"大分(とても)"背が高い」、というならmuchやfarを用いるといいです。

例★Tom is much taller than Mike.

逆に「TomはMikeよりも"少しだけ"背が高い」というなら、a littleや、a bitをつけましょう。

例★Tom is a little taller than Mike.

ただし、後ろにerがつけられない形容詞もあり、例えばbeautiful はbeutifuler(×)ではなく、more beautifulです。形容詞がどのように変化するかは、その都度辞書などで確認しておきましょう。

●3つ以上のものを比較して「一番～だ」と表現するとき

AとB、という2つのものを比べるのではなく、3つ以上のもののなかで「最も～だ」と述べたいときはまた表現が違います。

例えば、あるチームの中に10人選手がいたとして、トムがその中で一番背が高いとします。よって「ロブはこのチームの選手の中で一番背が高い」と言いたいときは以下のような表現になります。

例★Rob is the tallest of all the players in this team.

ロブはこのチームの選手の中で一番背が高い

形容詞tallの前にtheをつけて、tallにはestをつけましょう。すると「一番～である」という意味になります。また「～の中で一番背が高い」の「～の中で」はofで表します。ちなみに、ofのあとはplayersという複数形ですが、後にとるものが複数形の名詞ではなく、何かの「範囲」である場合はinをとります。例えば「ドグはクラスの中で一番賢い」ならば**★Doug is the smartest in the class.**です。クラスというのは一つの範囲なのでここではinです。また「ドグはクラスの中で"ダントツで"一番賢い」と最上級の部分を強調したいときはby farなどを最上級の前に置いて下記のように表現すると成立します。

例★Doug is by far the smartest in his class.

ドグはクラスの中で"ダントツで"一番賢い

※とりあえず最上級は「the ~est of(in)....」と覚えておきましょう。

ただし、後ろにestがつけられない形容詞もあり、例えばbeautiful はthe beutifullest(×)ではなく、the most beautifulです。形容詞がどのように変化するかは、その都度辞書などで確認しましょう。これまではあくまで比較表現の基礎です。次ページからはこの他の様々な比較表現を紹介します。使いこなせると表現力アップします！

その他の比較表現

1. 「AとBは同じくらい～である」

2つの人や物を比較して、「同じ」程度だった時の表現。このときは「A is as 原級 as B」の表現が用いられます。(AはBと同じくらい～である) asとasの間の形容詞はそのままdeerなどはつける必要がありません。

例★Shibuya is as busy as Shinjuku.

渋谷は新宿と同じくらい忙しい。

2. 「AはBほどではない」

2つのも人や物を比較して「AがB程ではない」というときはA is not as(so) 原級 as Bで成立します。

例★Most spiders are not as(so) dangerous as bees.

ほとんどの蜘蛛は蜂ほど危険ではない。

3. 「AはBよりも～ではない」

lessを形容詞の前につけて「A is less ~than B」で「AはBよりも～ではない」と形容詞の程度が低いことを表すことができます。
(※not as(so) ~ as と意味は同じ)

例★This puzzle is less difficult than that puzzle.

このパズルは、あのパズルほど難しくない。

4. 数を用いた比較表現「AはBの～(数)だけ大きい」

例えば「AはBよりも2cm長い」というなら、比較級の形容詞の前に数とその単位を置くといいです。

例★A is 2cm longer than B.など

またはbyを文章の後のほうに直後に数量をとって、

例★A is longer than B by 2cm.も可です。

5. 2、3番目に～であるという表現

例えば「ニックはクラスの中で2番目に背が高い」などと、順位をつけて表現したいときは、「the+助数詞+最上級」で成立します。

例★Nick is the second tallest in his class.

ニックはクラスの中で2番目に背が高い

6. ～というよりはむしろ～である。

違うthanの前後で異なる2つの形容詞を使ってできる表現があります。

例★International marriages are more difficult than interesting.

国際結婚はおもしろい、というより難しい。

7. ～であり、～でもある。

2つの形容詞を使って、両方が当てはまる、と言いたいときは「A is as～as～」で、形容詞の原級で表現できます。

例★Brad is as talkative as friendly.

ブラッドはおしゃべりであり、友好的でもある。